みんなの未来を変える



# ロボットは何をしてくれるだろう?

ロボットは、これまでも工場でモノを作ったりして人間の手助けをしてきました。最近では人間のように歩いたり物を持ったりするロボットもできています。人間型のロボットには、手足をうまく動かす技術、首や草でまわりのようすを知る技術、そしていろいろな情報をまとめて判断して行動する技術が必要です。

このようなロボット技術で、日本は世界の中でもトップレベルです。すでに、日常生活を助けてくれる「おそうじロボット」、病院で世話をしてくれる「介護ロボット」、人をいやしてくれる「メンタルコミットロボット」などが登場しています。



ロボット技術者を育てる学校でつかえるように開発された、小さな人間型ロボット 「チョロメテ」は、本格的なソフトウェアがつかえるので勉強には最適です。

#### にんげん せいかつ たす 人間の生活を助けてくれるいろいろなロボット

<sup>さんぎょうよう</sup> 産業用ロボット	せいぞうぎょう	************************************
	そのほか <sup>さんぎょう</sup> の産業	のうりんぎょう 農林業ロボット、 ちくさん 畜産ロボットなど
さんぎょうよういがい 産業用以外の ロボット	せいかつ 生活	警備ロボット、 ************************************
	ເທງຊວ້ <b>医療</b>	医療ロボット、 ※<し 福祉ロボットなど
	<sup>こうきょう</sup> 公共	災害対応ロボット、 たんき 探査ロボット、 はなせつ 建設ロボットなど

アザラシ型のかわいい いやし系ロボットの 「パロ」は、どこでも 人気者です。

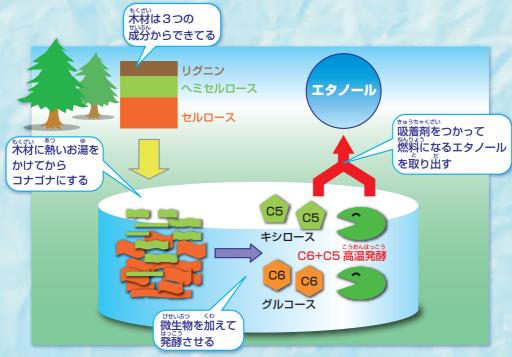
いろいろな技術の開発 がすすむと、ロボット の活躍する場所もます ますふえていきます。

これからは、ドロボウがはいったら追い払って警察に知らせたり、 火事をみつけて消防署に知らせて消火するような「警備ロボット」 や、災害があきたときに人間が入れないようなせまい隙間にも助け にいける「レスキューロボット」、ガス管や水道管の中に入って壊れたところを直してくれる小さな「修理ロボット」なども開発されることでしょう。

がたし、 私たちの未来には、もっともっといろんなロボットが待ってます。 2

#### まくざい 木材からもバイオ燃料がつくれる?

「バイオ燃料」というのは、サトウキビやトウモロコシなどを原料にしてつくられたエタノール燃料のことです。すでにアメリカやブラジルなどでは、ガソリンとまぜて自動車の燃料に使われています。しかし最近、バイオ燃料のせいで、食物の価格が高くなったり、将来の食料不足がおきないかという心配が問題になっています。もしも食料からではなく、工事などで切り倒された樹木や、いらなくなった建築材料などの木材からバイオ燃料をつくることができれば、そんな心配がなくなります。日本がリーダーになって、木材を利用してバイオ燃料をつくる研究が進められています。



ねっとう がはいぶつ 熱湯と微生物をつかうので、バイオ燃料をつくるときも「環境にやさしい」方法です。



木材に熱湯をかけて、コナゴナにしたあとに、カビの一種の菌や 微生物を加えて発酵させることで、燃料として使えるエタノールを つくります。

んと管理して

を守れるんだ。

日本の節積の約70パーセントは森林です。研究がすすめば、いままで使われていなかった森林資源が役立てられます。バイオ燃料をつくるために林業が活発になれば、森林を守ることにもなります。

## ハカリやモノサシはなぜ信用できる?

もしもハカリやモノサシの自盛がバラバラだったらどうなるでしょう? 工場でモノをつくるときも、お店で買い物をするときも、 みんながとても困ってしまいます。

日本のハカリやモノサシは(そして世界中のハカリやモノサシも)、みんな同じ重さ(キログラム:kg)・同じ長さ(メートル:m)をはかれます。これは、世界中のハカリやモノサシが、たったひとつのハカリやモノサシと同じになるように作られているからです。つまり、すべてのハカリやモノサシに「ああもと」があるから信用できるわけです。

いま、世界中のモノサシの「ああもと」には、光の速さが利用され、「1 m」は、「2 億 9979 万 2458 分の 1 秒の間に光が真空中を進む距離」と決められています。



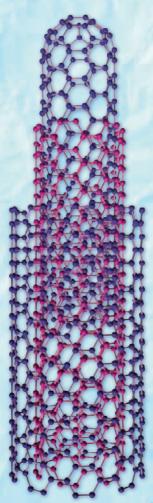


がかり 光をつかった長さの基準では、ヘリウム・ネオン・レーザーという装置で「1 m」が決められています。

いまも世界中で、もっと正確な「おおもと」をつくるための研究が続けられています。

## カーボンナノチューブっていったいなに?

「カーボンナノチューブ」って聞いたことないですか? 21 世紀 の夢の材料といわれています。軽くて強くてしなやかな、本当に夢のような材料です。



カーボンナノチューブは、炭素が &<ざつ ぬまり 複雑に結びついてできています。

カーボンナノチューブは炭素からできていて、すごく細い管のような形をしています。その細さは髪の毛の1万分の1ぐらいです。鉄とくらべたら、輩さは6分の1で強さは100倍です。カーボンナノチューブでロープをつくることができたら、す1センチメートルのロープでクルマ1000が1センチメートルのロープでクルマ1000また、カーボンナノチューブは電子を出す。また、カーボンナノチューブは電子を出す性質をもっているので、ディスプレイの開発もされています。



カーボンナノチューブでつくった シートは強いだけではなく、とて もしなやかなので、折り鶴をつく ることもできました。

こんな夢の材料なのに、まだあまり使われていないのはなぜでしょう? これまで、カーボンナノチューブをたくさんつくることができなかったからです。でも研究をかさねて、カーボンナノチューブをたくさんつくる方法が見つかってきました。もうすぐ、いろんなモノガカーボンナノチューブでつくられるようになるでしょう。

知らない人が多いかもしれませんが、この画期的な材料カーボンナノチューブは、飯島博士という日本人科学者によって発見されたのです。

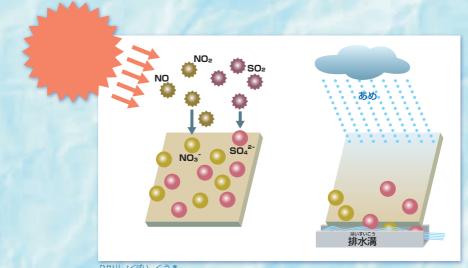


#### くうき 空気をきれいにする光触媒ってなんだろう?

クルマの排気ガスで空気が汚れるのは、大きな社会問題です。 はいき 排気ガスに含まれている「窒素酸化物」など害のある物質をなくす ための研究がつづけられました。

「光触媒」というのは、光をあてると空気の中の有害な物質を取りのぞく働きをもつ物質です。化粧品や白いペンキに使われている「酸化チタン」という白い粉が光触媒になることを、日本の研究者が世界ではじめて発見しました。





ひかりしょくばい くうき 光 触媒で空気がキレイになるしくみ。



をし、ありしょくはい。こうつうりょう ああ とうる しゃあんへき ぬる お 市部では、光触媒を交通量の多い道路の遮音壁に塗ることで、 をうきめ はいき がい ていげん せっぴ 騒音と排気ガスの害を低減する設備にできます。

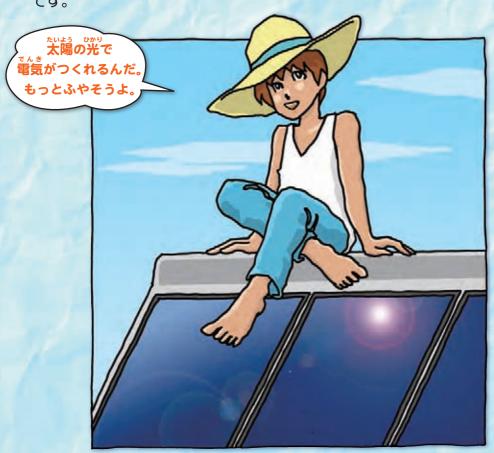
道路の表面に酸化チタンを塗ると、クルマの排気ガスを分解して空気をきれいにすることができます。また、光触媒にはそのほかにも汚れやばい菌を分解する力もあるので、病院の床やタイルなどに使って感染の防止にも利用されています。室内の化学物質のせいで頭が痛くなったりする「シックハウス」という症状にも有効です。

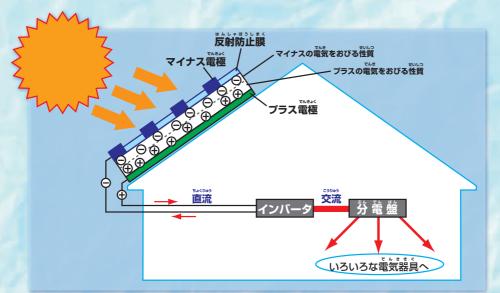
日本の光触媒の技術は世界でもトップレベルです。もっといろい りょうほう ろな利用法を見つけるための研究がすすめられています。

### たいようでんち 大陽電池はどうやって電気をつくる?

最近は「太陽電池」をよく見かけるようになりました。近所にも をはなっている。 を根にツルツルした黒っぽい板をのせた家がたくさんありますね。 大陽電池は、太陽からの光を電気に変えてくれるものです。

太陽電池は、半導体というものでできています。半導体に光があたると、プラスとマイナスの電気がつくられます。プラス極とマイナス極を電線でつなぐと電気が流れます。これが太陽電池のしくみです。







太陽の光から電気をつくる たいようでんち 太陽電池のしくみ

産総研では、いろいろな種類の太陽電池をたくさん並べて、データを集めながら、技術開発をつづけています。

太陽電池は、太陽の光があたるところならどこでも発電できます。 でかき電気をつくるときに、騒音・振動、二酸化炭素や汚染物質を出さないので、環境にやさしいエネルギーです。

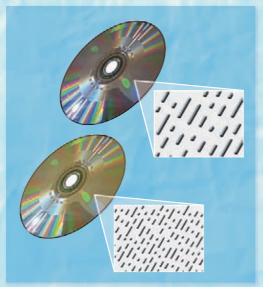
日本の太陽電池の技術はとてもすぐれていて、生産量は世界全体ではあるからである。

# なぜ小さなディスクに情報が記録できる?

きがだく えいぞう きょく 音楽や映像を記録している、CDやDVDって、どういうしくみ になっているんでしょうか?

てりには自に見えないほどの小さな穴(髪の毛の太さの100分の1くらい)がたくさんあいています。穴の「ある」「ない」をつかって音楽などの情報を記録します。再生するときにはレーザー光線で、この穴の情報を読みとりますが、それは1秒間に4万回という驚きのスピードです。

DVDもCDと同じように党があいていますが、CDよりももっと小さい穴なので、情報をたくさん記録することができます。そして、これまで使われていた赤色のレーザー光線にかわって青色のレーザー光線を使う「ブルーレイ・ディスク」では、DVDの5倍以上の情報を記録できるようになりました。



ディスクにあけられた穴の大きさ (小さいほどたくさんあけられる) で、記録できる情報の量がかわります。

ディスクの材料や、記録の方法が、 どんどん開発されて、もっともっと たくさんの情報が記録できるディス クができるでしょう。



このように穴をあけて情報を記録するディスクはどんどん進歩してきましたが、穴を小さくする技術にも限界があります。そこで、いままでとはちがうディスク材料を試したり、新しい記録方法を試したりして、もっとたくさんの情報を記録できるようにするための研究開発も行われています。

### みんなの 常報を 変える さんぎょうぎじゅつ と 一 2

■ ロボットは何を してくれるだろう?

木材からも バイオ燃料が つくれる?

ハカリやモノサシは なぜ信用できる?

3

**4** カーボンナノチューブ っていったいなに? 空気をきれいにする 光触媒って なんだろう?

る 太陽電池は どうやって電気を つくる? なぜ小さな ディスクに情報が 記録できる?

#いきく きんぎょうぎじゅつそうごうけんきゅうしょ けいざいきんぎょうしょう きんぎょうぎじゅつかんきょうきょく 制作:産業技術総合研究所 と 経済産業省 産業技術環境局 (2008/4/1)

お問い合わせ: 029-862-6211 (産業技術総合研究所 広報部)

